

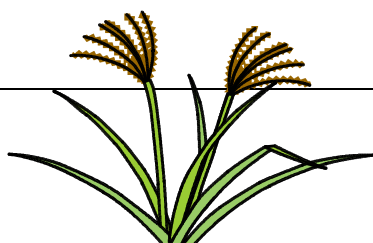
# 延小だより

No. 29

令和2年11月19日(木)発行

行橋市立延永小学校

ホームページへのQRコード



**寒** くなってきたこの時期、ちょっとしたことがおっくうになりがちです。それでも、時と場に応じた相手への思いやり〈礼儀〉や身の周りの整理整頓は、面倒くさがらずに、きちんとやっていきたいものです。〈下記のエッセー参照〉

さて、朝の寒さを感じるようになった先日、行橋インターチェンジ手前の高速道路の下に、ハンバーガーの包みが散乱していました。吉国方面から歩いて登校してきたその5年生の男子は、迷うことなくその散らかった包みを拾いスッとゴミ袋に入れてくれました。

同じ日の昼休み、校長室から長机を運ぼうと、廊下を歩いている6年生の男子に「ちょっと手を貸してくださいませんか?」と声をかけました。もしかしたら運動場に出て遊ぼうとしていたところかもしれません。でも、彼はいやな顔一つせず、快く手を貸してくれました。

労をいとわず、誰かのために自分のできることを実行する。とてもカッコいい、素敵な行動です。上記の男子2人は、とてもスマートにそれを実践してくれました。

寒さを感じはじめた11月のちょっと嬉しい日でした。



**ぶ** どうコースを通学路として利用する児童で、上記の道を通る人は、**来月12月1日(火)~令和3年4月下旬**まで、電話無線基地局の新設に伴う工事がありますので、トラック等には、十分注意をしてください。児童の登下校時間帯は、できるだけ工事車両の通行を控えてもらうよう依頼しています。また、交差点にはガードマンが安全確認をしながら車両の誘導をします。通学路コースや工事の有無にかかわらず、登下校中の安全には、十分気をつけてください。



## 「美しき」を保つ秘訣



「面倒だ」と思った瞬間、「だから、しない」のではなく、「だから、すること。」  
 他人様が入っていらしたら、立つ。  
 他人様とお話をする時は、マフラー・手袋を外し、コートも脱ぐ。ポケットから手を出す。  
 これらのことを、気の向く時、気の向く相手にだけするのはなく、自分のあり方として守ってゆく時、それはいつかさまになり「美しき」へと変わってゆくものです。  
 よく新聞などに、コツとでもいうものが書かれていることがあります。  
 「こうすると、案外、おずかしいと思われていたものが、やさしくできますよ」といった、生活の知恵的なものがあります。  
 先日、そういう欄を見ていて、心を打たれたことがあります。  
 それは、とかく汚れやすい洗面台のあたりを、絶えずきれいに保つにはどうしたらよいかということが書かれてありました。  
 「使った後、こまめに拭くことです。」  
 という回答に、私はいたく感心してしまいました。  
 こういうことがコツとして書かれている。今や面倒なことをせずともインスタントできれいになる、といった特効薬的なものが幅を利かせている時代に「何でもないこと」が大切にされていることが、とても新鮮に思えたのです。  
 心も、こまめに拭いていたら、きっときれいになるだろう。そんなことを考えてしまいました。  
 『幸せはあなたの心が決める』  
 フットルダム清心学園理事長(著) P H P 研究所から 渡辺和子